

子ども夢フォーラム

News!

NPO(非営利任意団体)
2016.3.15 (No.94)

【隔月発行】発行責任者：高木真理子



北陸の雛祭りは、旧暦の3月3日にお祝いする風習が今でも残っています。最近では、町おこしで各家のひな人形を見て回る行事に取り組む地域が増えているようです。(奈良、勝山、茨城、千葉、静岡、埼玉、東京、佐賀、徳島、……)金沢は、和菓子どころらしく豪華絢爛な雛菓子がいろいろあります。金華糖や落雁で作られた華やかで甘い雛菓子は、ひな飾りには欠かせません。お雛様を飾る手間を省いても、雛菓子を飾ることに心浮かれるのって、邪道でしょうか^^。4月になると、入園、入学、入社など、不安と期待を胸に、真新しい制服に身を包んだ人たちが行き交い、町は活気づきますね。借りものようだった制服は、いつのまにかそれぞれの身にじっくり。昨年を思い出し、我が子の成長に感動をかみしめている方もいらっしゃるのではないのでしょうか(*^^)v



気温の高低差が激しかった今年、桜は、その開花に大いに戸惑っていることでしょう！入学式のころに金沢は桜が満開を迎えます。昼間とは打って変わり、ぼんぼりに浮かぶ夜桜も一興。潔い桜は、いつまで私たちの眼を楽しませてくれるやら、楽しみ、タノシミ！



(おのおのゆたか)

大野 裕 氏 講演&シンポジウム (3/13)

(一社) 認知行動療法研修開発センター理事長)

於：珠洲商工会議所ホール



石川県と、民間10団体でつくる「かけがえのない命を守るネットワークいしかわ」が主催しておこなった企画です。会場の“珠洲”まで、はじめはバスに揺られていく予定でしたが、金沢に戻る夕方のバスがないということが判明。急遽、車でいってきました。晴れて気持ちの良いドライブ日和でした^^。

会場を埋めた人々のテーマへの関心の高さを感じました。



大野先生は、「高齢者のこころの理解とケア」と題して、まず、認知行動療法についてを、絵などを用い、わかりやすく説明してくださいました。

弱っている人への励ましは、ますます自信を無くすことにつながる。不安なとき、頑張ろうとするより、ちょっと立ち止まること。アメリカでの4,642人の10年間の追跡調査結果を表したグラフでは、「人とのつながり」は、うつ病の予防につながるという結果を示していました。このほか、会話のコツ、話を聴く際の留意点、考えを整理するヒント、などのポイントでわかりやすく話してくださいました。

「一人ひとりにできること」をテーマにおこなわれたシンポジウムでは、老人クラブ会長、行政、地区社会福祉協議会、精神科医が、それぞれの地域の状況・実態や関わりをご報告してくださいました。現場を知る医師からは、医療システムが住人のニーズに応えるものになっていないという問題点について具体例を示し挙げられました。

杜の子まつり (仙台 2/6)



↑
高木の簡単カードづくりのブースです。
次々に訪れる子どもたちが、自分のセンスで自分だけの吊って飾れるカードを作っていました。子どもの素敵な発想に触発されてか、そばで見ていたお母さん、おばあちゃんも、ご自身の制作につかの間、楽しんでいらっしやる様子がとても微笑ましく感じました。

出来上がったカードに
“いつもありがとう”のメッセージを書き、
近くで待っていたお母さんにプレゼント
していた子がいました。
ほのぼのした気持ちになりました。

別の予定があつて来れな
かった妹の分も作る母娘が
いました。
優しさにふれたひと時です。

子どもたち一人一人に作り方の説明を
したり、手の届かないところにあるシール
をとってあげたり…、当日は、現地の
大学生のお手伝いがとても助かりました。



親子支援に関わるNPO法人(東京)が、東日本大震災直後に宮城へ入り、地域でヒアリングをし、そこから支援のニーズを探ることや、現地の団体をつなげました。そうしてできあがった動きが、親子子どもが楽しい時間を過ごす「杜の子まつり」です。「杜の子まつり」では、かえっこバザールや、手作りコーナー、ゲームコーナー、人形劇の鑑賞などを準備し、毎回、多くの家族づれでにぎわっています。ご縁があつてお声をかけていただき、高木も1回目の2012年2月からお手伝いさせていただいています。県外からの支援は、今、地域をつなぐ手立てとして現地の人が石巻などにも機会を拡げており、現地の大切な取り組みとして根付いてきています。

すべてのプログラム終了後、兵庫の高校生と仙台・石巻の高校生の交流も継続しています。部屋の隅でかれらの会話を聞かせていただきました。

お菓子を食べながら、最初は、当たり障りのない会話が続きます。自然に、震災のあの日あの時の話になっていました。心の痛みにも、今も折り合いがつけられない彼らの様子が伝わってきました。

- ・死んだ人が流れていくのを見た友達が今も苦しんでいる。
- ・大震災のあつた夜に見た星がとてもきれいだった。
- ・避難所で、子どもをあやす若い母親に「うるさい！」と言う年寄りがいた。
- ・なくなったものはもどらない。
- ・うん、もどらない。

否応なしにふりかかった経験は、子どもたちの将来に大きな影響をあたえ、懸命に模索する様にふれ、心の中で、エールを送る私でした。

大震災から5年が経過しました。
今、居る場所から、それぞれの
“あの日”に想いを馳せ、気持ちを
巡らしていらしたことでしょう。
まだまだ続きます……。

明橋氏講演会 (2/16)

しつけや学力が身につくのは、自己肯定感があるから。
子どもの“自己肯定感”を育てることが大切！と説かれる明橋大二氏です。
できないことより、できているところに注目しよう。
「できて当たり前」でなく、「できなくて当たり前」。
さらに、子どもの心の回復過程を分かりやすく5段階で示してくださいました。
子どもとの関わりを考えるうえで極めて重要な内容と位置づけ、これからはこうした学ぶ機会の提供を続けていければと思います。
通常の診療に加え、執筆や講演に多忙を極めていらっしゃる先生ですが、めげずに日程確保に努めていきたいと思っています。

【当日の感想より抜粋】

- ・何かができるから…ではなく、いい時も悪い時も無条件で、あなたが大切という姿勢が大切と思いました。
- ・スキンシップを大切に自己肯定感が高い子に育てていきたいです。
- ・行き詰ったり、悩んだときは、この話を思い出して、肩の力を抜いてやっついこうと思いました。
- ・きょうのお話、本当に心にひびきました。
- ・先生の言葉に救われました。



広岡氏講演 (2/28)

～楽しく終了しました！～



(写真左から茨木氏、広岡氏、広岡さん、高木)

急遽、広岡立美さんと高木もステージにあがることになり、子育てのことや今の親事情などお話ししました。途中、広岡先生の発言に女性2人で反論(笑)する場面もあったりして、きっと広岡先生には会場からの同情票が集まったかもしれませんね^^。

事前にあつめた“つぶやき”が、茨木さんによって曲がつけられ、広岡先生のお話に合わせて、それが披露されました。同じつぶやきでも、悲しく・腹を立てて・楽しくと、違う曲調で表現されると、話の持つ意味合いがすごく違ってくることがよくわかりました。相手の声のトーンや表情も合わせて受けとめることが、大切だと改めて感じました。

茨木さんの最新曲「金沢ロマンス」はとても歌いやすく親しみやすいデュエット曲です。カラオケでいかがですか(*~*)



“つぶやき”から話が展開されていくスタイル、とても良かったです！

<感想から>

- ★ステキな企画でした。広岡ご夫妻は、まさに同士ですね。多くの方に伝えていただきたいと思います。長く暮らしてきて、きょうも新しい気づきがある柔軟さは見習いたいと思いました。
- ★聴いていて、とても心に入ってくるお話と歌でした。すごくステキな発信の仕方だと感じました。これからも頑張ってください。
- ★新しいスタイルの講演会、良かったと思います。子育て中の親子さんの参加がもっと多いと良かったです。
- ★とてもステキな講演会、演奏会でした。これからの社会の在り方をこのような形で提案して下さり、いろいろ考えさせられました。「子育て」は、社会の在り方を問う問題であり、ここから出発することの大切さも改めて認識しました。発言の中に心の中にしまい込んでおきたい言葉がありました。深く胸に刻んでおきます。大光さんの最後の演奏もすてきでした。聞いた曲もあり、懐かしい気持ちにもなりました。これからもどうぞ頑張ってください。

子どもの声から様々な課題が見えてきます。子どもたちが、将来に希望を持てるような社会に早くなくては・・・焦る気持ちが募ります。

子ども夢フォーラムが、チャイルドラインの活動を2000年にスタートさせた頃感じた子どもたちの状況は、16年経った今、生きづらさはさらに深刻さを増していると感じます。

子どもたち一人ひとりが、自分の気持ちを時間をかけて吐露する小さな経験の積み重ねによって、それは自分で考えること、発信する力になります。摩擦をおそれず、人と関わり、それらを生きるエネルギーに変えていってほしいことを痛感しています。

大人が抱える課題は、子どもの様々なサインにつながっています。それにつけても緊張感をもって、これからもチャイルドラインの継続実施や、それにまつわるいろいろな社会発信に奮闘します！

幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日に、イオン各店舗で実施されているキャンペーンです。子ども夢フォーラムは、イオン松任店に登録しています。

9月～2月のレシート合計の1%のギフトカード金額は、7,400円でした。過去、鉛筆削り器や、電子ポット、事務用品等の購入に充てさせていただいており、とても助かっています。

11日にお買い物に行かれた際、イエローレシートを1階食料品レジ前にある「子供夢フォーラム」のボックスに入れていただくととても嬉しいです。よろしくお願いたします。

【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、月～土、全国で実施中★
0120-99-7777 (16時～21時)

≪いしかわは、金曜日と土曜日に受けています！≫

- 2月 6日(土)「杜の子まつり」(仙台)
10日(水) 打合せ
" 講演(かほく市)
16日(火) 明橋氏講演会
18日(木) リレほく3県事務局会
20日(土) 母と子のこころのサロン
24日(水) 受け手支援手合同研修
27日(土) びーらぶP.学習会
28日(日) 広岡氏講演&ミニライブ
- 3月 6日(日) 北陸近畿(臨時)エリア会議(京都)
12日(土) びーらぶプログラム実施②
13日(日) かけがえのない命を守るNW/講演会(珠洲市)
15日(火) 印刷
" 運営委員会
16日(水) 女性と子ども支援NW定例会
19日(土) びーらぶプログラム実施③
25日(金) 日本女性会議準備会
26日(土) びーらぶプログラム実施④
- 4月 10日(日) イオン黄色いレシートCPギフトカード贈呈式



～ありがとうございました^^!～

2015年度は、子ども専用電話「チャイルドライン・いしかわ」をはじめ、講演会も複数、企画・開催してきました。資金不足や、広報力の弱さなど課題は抱えていますが、なにはともあれ無事に一年間を終えることができました。これもひとえに皆様のご支援、ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。今は、報告書などまとめの作業と、来年度にむけた準備をスタートさせています。



振替用紙を同封させていただきました。
2016年度(2016.4.1～2017.3.31)も変わらぬご支援ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

びーらぶプログラムは、NPO法人SAYASAYAの心理教育プログラムを指し、DV被害女性と子どもへの回復プログラムです。

「女性と子ども支援ネットワーク金沢」では、このプログラムのインストラクターを2年前から養成してきており、本年2月に希望者への実施にこぎつけました。

～豊かな子どもの未来のために～

〈子ども夢フォーラム〉

NPO(民間非営利団体)

〒921-8101

石川県金沢市法島町11-8

いしかわ子ども交流センター2階

TEL/FAX 076-214-5680

URL <http://www.yumeforum.org>

E-mail kodomo@yumeforum.org

郵便振替口座 00700-5-46262



〈子ども夢フォーラム〉は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。

子どもの声からの気づきも重要と捉え、

子どもたちの声から「ママ・ホッとライン」や「パ

も大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたいと思



きを大人社会にフィードバック 大人の話を受けとめる「パパママ

子育て講座」など、様々な活動を展開しています。

同時に他団体とのネットワークも大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたいと思